TLP:GREEN

# フィッシングの動向と対策への取組

令和６年11月27日

一般財団法人日本サイバー犯罪対策センター（JC3）

渡邊　泰司

JC3 Japan Cybercrime Control Center

# JC3の組織概要

## 法人名

✓ **一般財団法人日本サイバー犯罪対策センター**

**（英語名：Japan Cybercrime Control Center）　※2014年11月13日に業務開始**

## 創設の背景

✓ **サイバー空間の脅威が深刻化する中、個別具体の脅威に対して、事後的に防護措置を講ずる受け身の対応**

**→サイバー空間全体を俯瞰し、産学官(警察)それぞれが持つサイバー空間の脅威への対処経験を集約・分析した情報を組織内外で共有し、サイバー空間の脅威を特定、軽減及び無効化するための活動に貢献する。**

**警察庁の有識者会議等を経て、「世界一安全な日本」創造戦略（平成25年12月閣議決定）でも言及**

## ～米国のモデル～

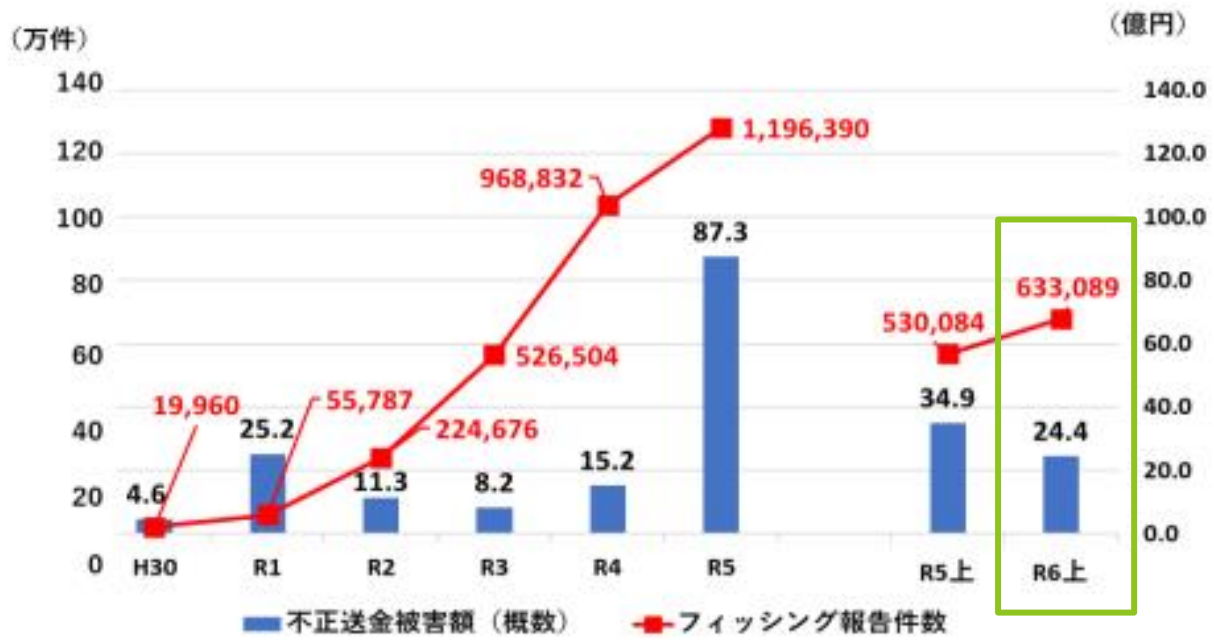
米国ではサイバー空間における脅威への対処を目的として1997年、非営利法人**ＮＣＦＴＡ**を創設。FBIをはじめとする法執行機関、大学等の学術機関及び民間企業連携の組織として機能しており、迅速な情報収集、情報の分析、分析した情報に基づく迅速な捜査等を遂行するためのトレーニングを提供している。

（ＮＣＦＴＡ=National Cyber-Forensics & Training Alliance)

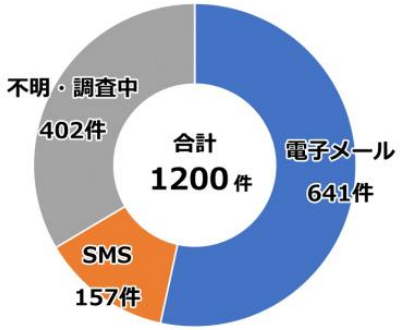
# 不正送金被害の情勢

- フィッシング報告件数が昨年同期比で約10万件増加
- 不正送金被害も高止まり

【図表 11：フィッシング報告件数及び不正送金被害額（概数）の推移】




14　フィッシングサイトへ誘導する手口別割合



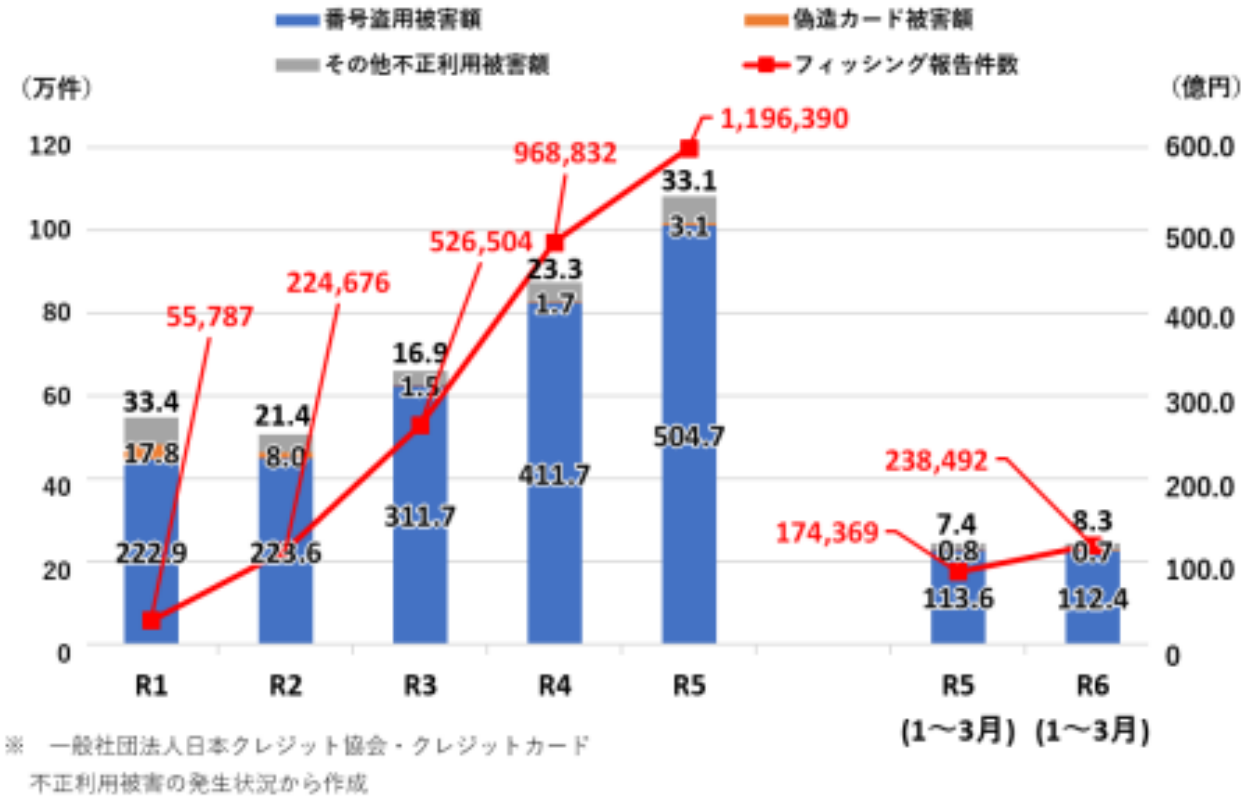

インターネットバンキングに係る不正送金事犯の発生件数及び被害額の推移


引用元：警察庁「令和６年上半期におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢等について」

# クレジットカード不正利用被害の情勢

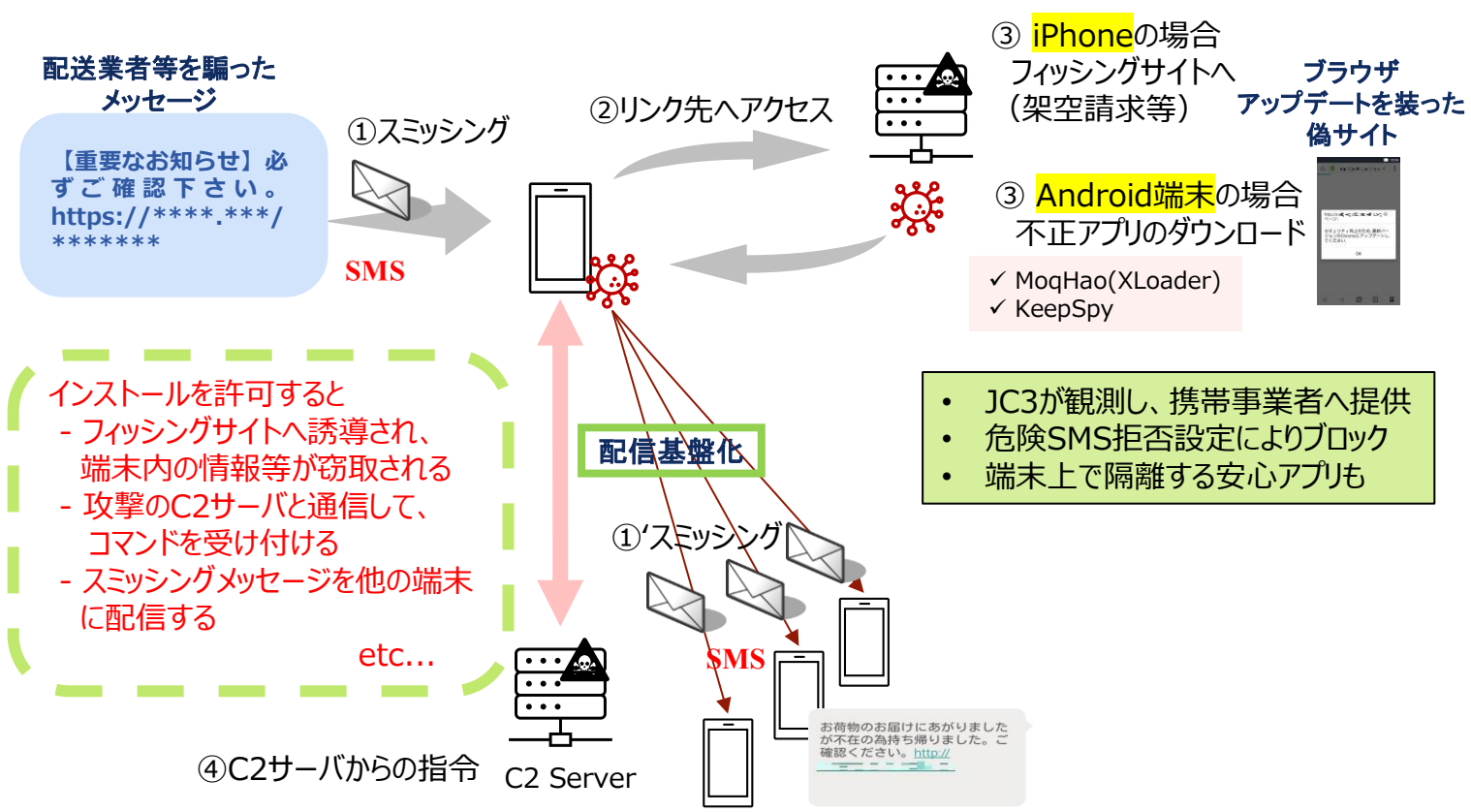
## 依然として厳しい

【図表 12：フィッシング報告件数及びクレジットカード不正利用被害額（概数）の推移】




引用元：警察庁「令和６年上半期におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢等について」

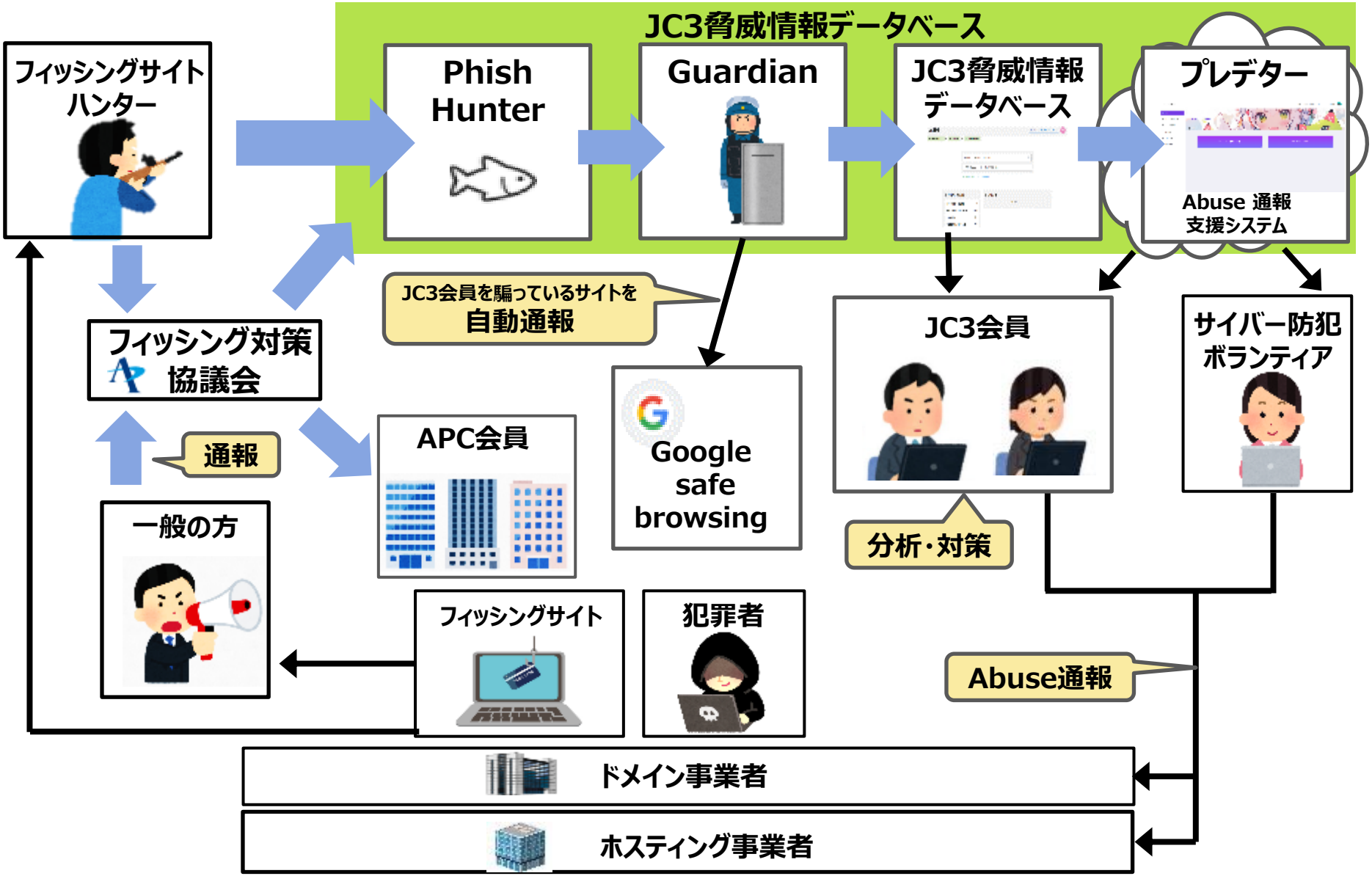
# SMSから始まるフィッシング被害（モバイルマルウェア）



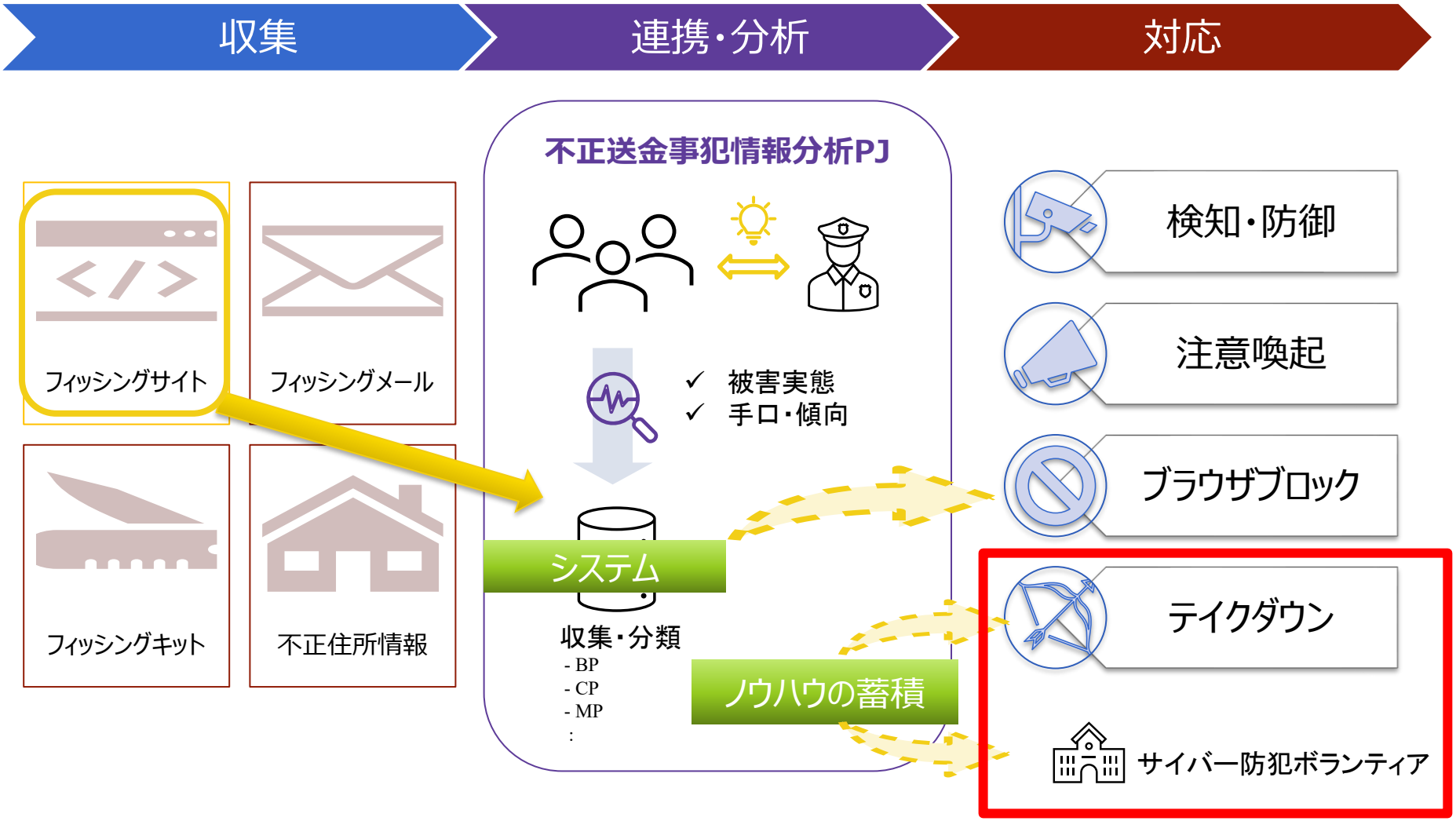

携帯電話会社から新たな対策も


NTTドコモ様のサイトより

# JC3におけるフィッシングサイト対策



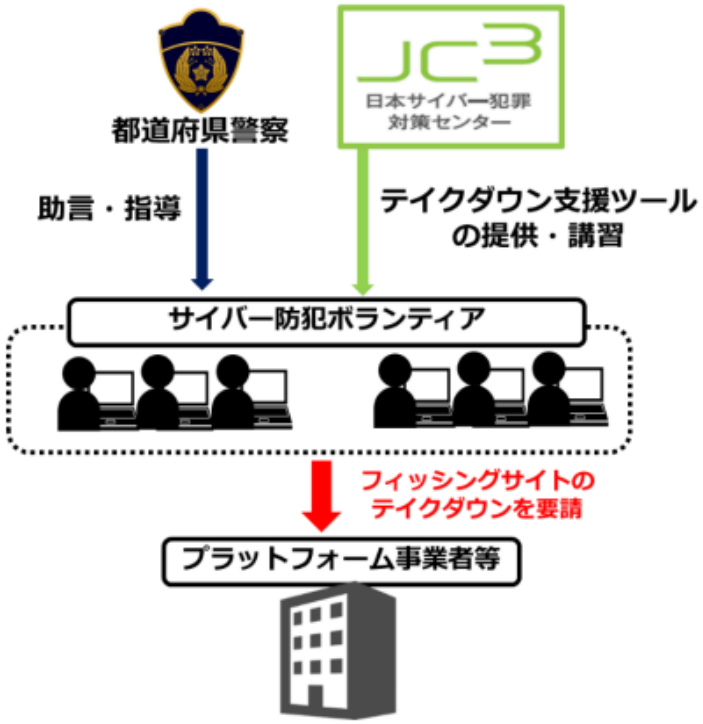
# フィッシング対策への取組



# フィッシング対策への取組（警察庁）

- フィッシングサイトの閲覧防止対策として、各都道府県警察では、サイバー防犯ボランティアの拡大・活性化を図るとともに、フィッシングサイトのテイクダウンがより効果的に行われるよう各団体へ助言・指導している。加えて、一般財団法人日本サイバー犯罪対策センター（JC3）では、専門的な知識を持たない人であってもプラットフォーム事業者等に対してサイトのテイクダウン依頼を行うことができるツールを開発し、サイバー防犯ボランティア等に提供するとともに、令和６年２月から３月にかけてサイバー防犯ボランティア向けの「フィッシングサイト撲滅チャレンジカップ」を実施しており、警察庁はこれを後援している。

【図表 16：サイバー防犯ボランティアへの支援】




引用元：警察庁「令和６年上半期におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢等について」

# フィッシングサイト撲滅チャレンジカップ

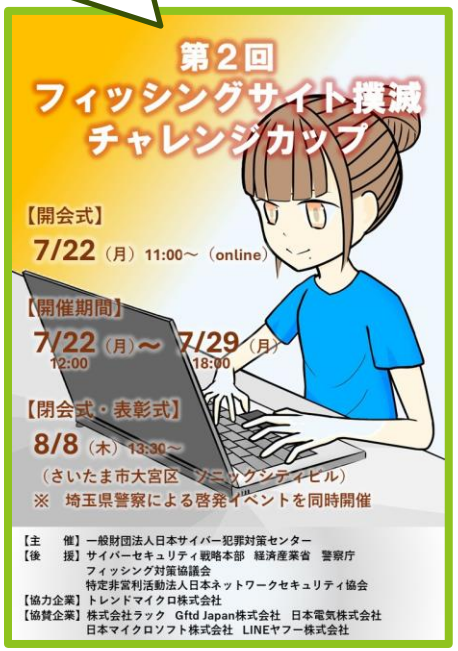
## 第１回　概要

- 期間：令和６年２月13日～20日
- 参加者：125名
  - 都道府県警察　　20都道府県警
  - ボランティア団体　　27団体
- 大会結果
  - Abuse報告数：9,319件、テイクダウン数：268件

## 第２回　概要

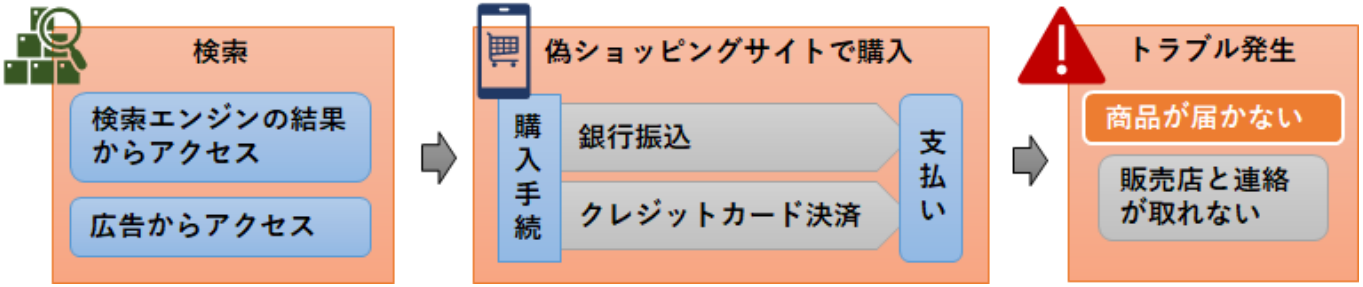
- 期間：令和６年７月22日～29日
- 参加者：359名
  - 都道府県警察　　31都道府県警察
  - ボランティア団体　　48団体
- 大会結果
  - Abuse報告数：12,072件、テイクダウン数：2,201件

結果の詳細等はこの後の「C11」のセッションで

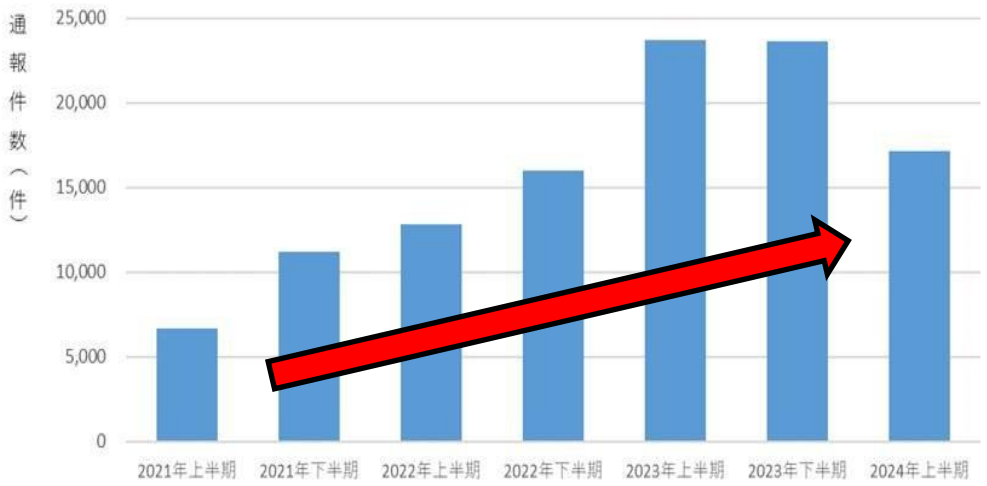


# 偽ショッピングサイトでクレジットカード情報が盗まれる

## 検索結果の上位に偽ショッピングサイトが表示される（行為者によるSEOポイズニング）

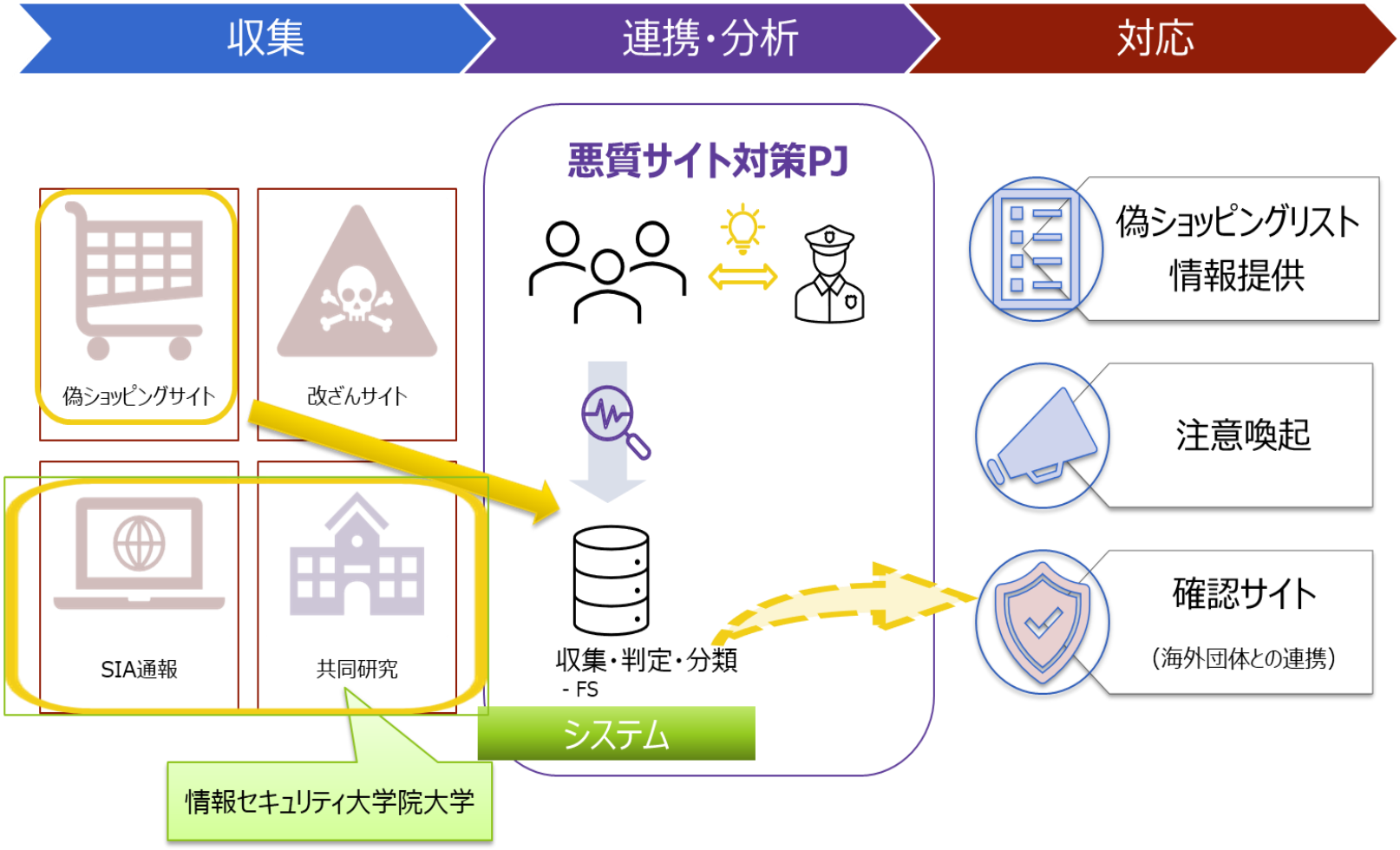
# 悪質ECサイトホットラインセンターに寄せられた通報




| | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年上半期 |
|---|---|---|---|---|---|
| インターネット検索結果 | 6,473 | 12,360 | 17,777 | 34,639 | 11,737 |
| メールに記述されていたURL | 1,311 | 2,614 | 4,502 | 4,551 | 2,604 |
| X（旧Twitter）等のSNS投稿 | 676 | 740 | 1,267 | 2,028 | 638 |
| 掲示板などの投稿 | 162 | 265 | 356 | 325 | 129 |
| インターネット検索広告 | ― | ― | ― | 2,518 | 709 |
| その他 | 1,342 | 1,899 | 4,881 | 3,003 | 1,286 |

| | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年上半期 |
|---|---|---|---|---|---|
| 銀行振込 | 1,505 | 1,502 | 2,704 | 3,795 | 1,438 |
| クレジットカード決済 | 512 | 988 | 1,160 | 1,279 | 484 |
| その他 | 478 | 567 | 979 | 1,461 | 940 |

# 偽ショッピングサイトに関する取組



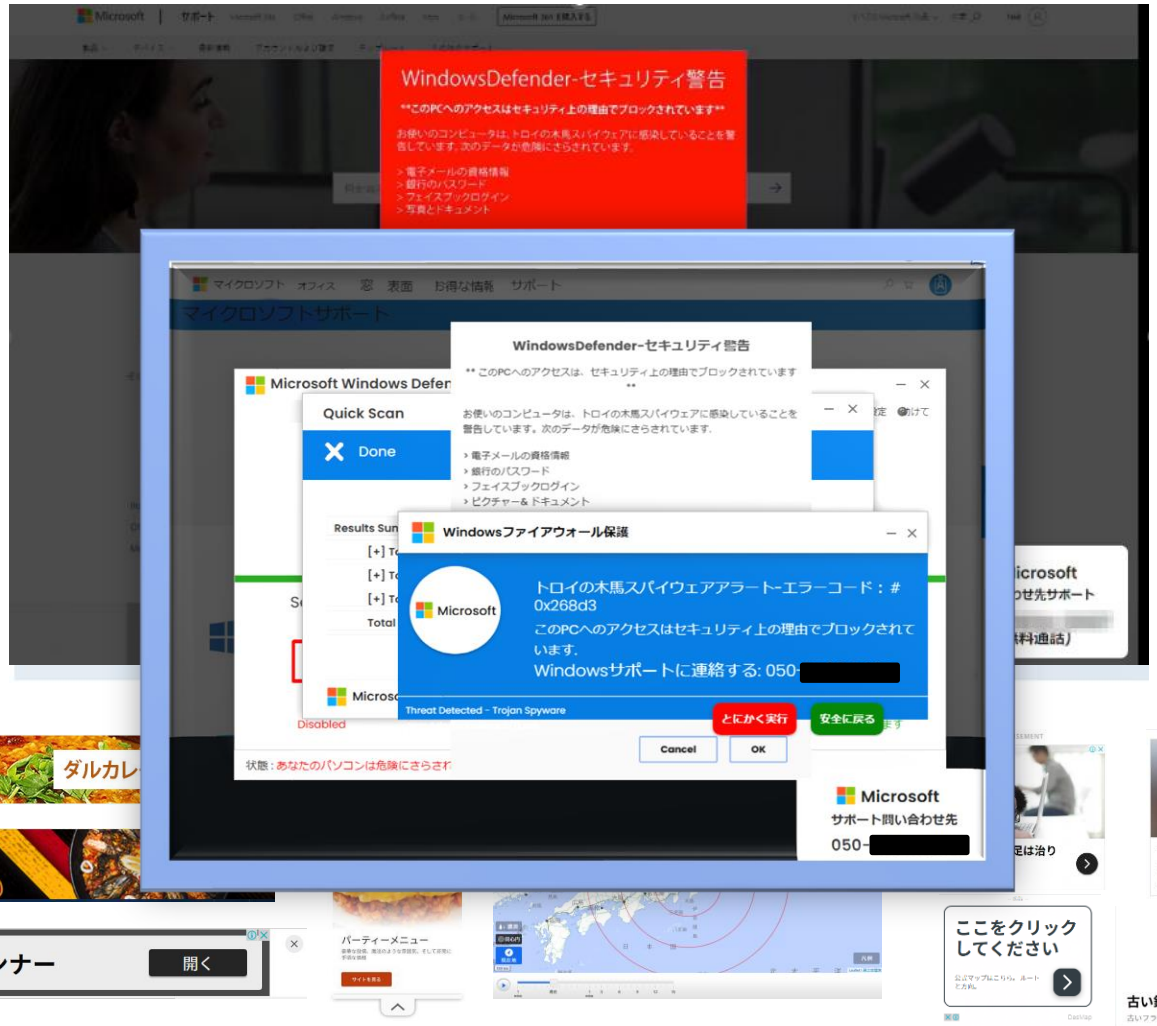

**毎月約2万件の情報を会員企業、APWG、ScamAdviserに提供**

# ScamAdviserへの情報提供

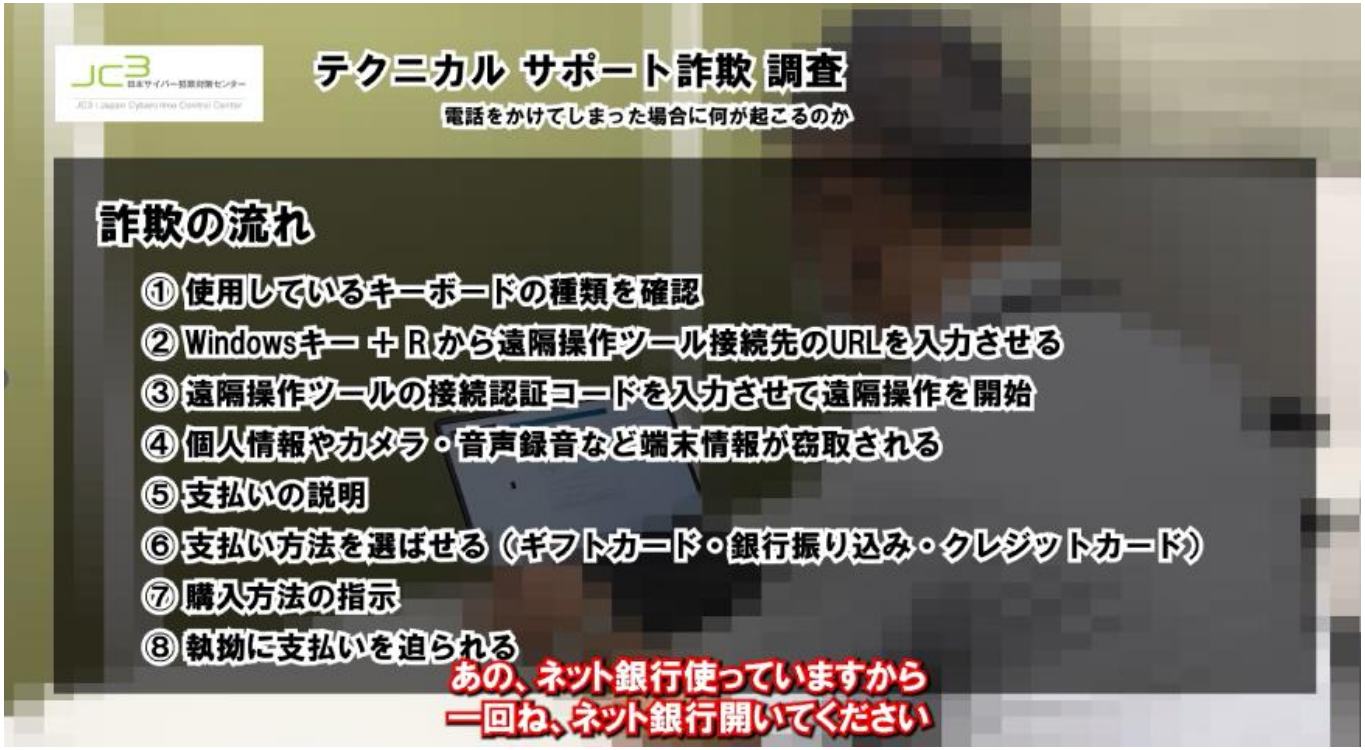

https://sagicheck.jp/

# テクニカルサポート詐欺　～誰もが遭遇する恐れのある被害～

**突然こんな画面とともに警告メッセージが大音量で流れます。**
**あなたなら記載のサポートに電話しますか？**



# 電話をかけるとどうなるかを知っておきましょう




https://www.jc3.or.jp/threats/examples/article-570.html

- **電話をかける時点で騙されています。絶対に画面の電話番号に電話しないでください。**
- **サポート詐欺に限らずパソコンを使って困ったことが起きたら、親しい身の回りの方や警察に相談してください。**

※　参考文献　サイバーグリッドジャーナルVol.15　特集1　突然の警告!? サポート詐欺の謎に迫る！

https://www.lac.co.jp/lacwatch/pdf/20230302_cgjournal_vol15.pdf

# サイバー犯罪対策における官民学連携の意義

✓ 攻撃者、犯罪者は、互いの専門性を共有し、合法、違法様々な手段、方法を講じている。

⇐ 現実の脅威に対抗することは、一企業、一組織単独では困難

◆ 情報とリソースの共有が重要

業界を超えて、官民学の違いを超えて
攻撃の主体、動向、対象、手法、犯罪インフラ等のリアルな実態を把握

◆ ＜企業＞と＜法執行機関＞等との連携の「場」の提供（JC3）

＜定期的＋随時＞の情報共有等の場の設定
→ 業界を超えた関係者間の相互理解の醸成
脅威へ立ち向かう目的意識を共有する関係者による信頼関係、同志的関係の構築
関係者が活用できるデータ、情報の収集、整理

◆ 攻撃者のエコシステムへの対抗

社会全体での、攻撃しづらい環境・システムの構築

ご清聴ありがとうございました

JC3
Japan Cybercrime Control Center